

# 第18号



まちづくりは、あなたと私で

# 市自公連だより

## 筑紫野市自治公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市自公連事務局 ■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3  
■発行責任者 会長 中野 二郎 生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

### 役員のことば



筑紫野市自治公民館連絡協議会  
会計 渡辺 貞夫 (古賀公民館長)

市自公連の主な活動の中で、研修と広報(市自公連だより)などがあります。

研修については全国や県レベルの大会参加や市内でも推進大会、公民館研修ツアー、公民館館長・主事の研修会などを開催しています。研修は、地域防災・福祉・教育など多岐にわたるテーマについて、講演・事例研究等を実施しています。

市自公連だよりは、一般市民に対して各公民館の活動報告が主な内容で、各研修会の報告なども掲載しています。しかしながら7地区87の公民館は、環境を含めそれぞれ住民の数・年齢構成も異なっており、その状況下で様々な研修、事例発表を行っていますが、全ての公民館の発展にマッチした研修の実施は非常に困難だと思います。

発展のためには第一に人材(担い手)育成が必要になってきます。その中で60歳以上の中・高齢者はまだまだ現役として仕事に従事されている事が多く、若い世代についても自身の生活に一生懸命に取り組んでおられることと思われます。今後、担い手不足についての解消策は、各公民館単位で将来に向けてのビジョンの作成、公民館ハンドブック、市自公連だよりなどを参考に、小さな実践の積み重ねが大事なことと思います。

私も約2年間、市自公連役員(会計)を務め、研修会等数多く参加させていただき将来に向けての公民館活動の問題点が見えてきたように感じています。

今後とも、皆様からのご要望、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

### 市内公民館等研修ツアー

11/26

### 湯町公民館

11/26

### 座談会

### 『公民館活動の活性化』

11月26日、湯町公民館研修後、生涯学習センターにて座談会を開催しました。



湯町防災倉庫



#### 現状課題として、

- ・公民館使用が月4、5回と少ない。
- ・サークル活動やサロン活動が多く、利用者が固定化している。
- ・子どもや学生、現役世代の利用が少ない。
- ・公民館で子どもを見守る人がいない。
- ・高齢化のため役員など後継者選出が困難。
- ・新住人への公民館の求心力を高める。など、様々な内容があげられました。

#### これらの対策として、

- ・子ども育成会と連携して活動する。
- ・子ども食堂を開設し子ども/高齢者を集う。
- ・若い人の企画を支援し、地域を盛り上げる。など、他にもたくさんの意見がありました。

湯町公民館では、春は「湯町藤まつり」夏は「七夕会や夏祭り」秋は「観月会やもみじ祭り」冬は「餅つき大会やこままわし・ぜんざい会」など、一年を通して、様々な活動を行っている事を知りました。他にも活動の課題として、役員や活動メンバーなどの人材の確保についても、お話を聞くことができました。私は縁もあり、農協青年部や消防団などにも所属していますが、どの組織でも役員や活動メンバーの人材を集めることに苦労しています。特に消防団は地域に人材が少ない上にその活動が特殊なためか、団員の人材確保が困難になっています。

今回、研修ツアーで知ることのできた湯町公民館の人材確保方法などが、他の組織でも活用できないか参考にしていこうと思います。

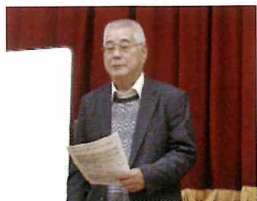


# 地区別公民館交流会



## 山家地区公民館

### ～災害時に必要な力を身に着けるための災害図上訓練「DIG」研修～



令和6年度の山家地区公民館交流会は、1月18日(土)、山家コミュニティセンターにおいて、本地区の公民館長、主事、民生委員、児童委員、福祉委員、山家コミュニティ運営協議会等を含め43名が参加しました。

今回は、山家コミュニティ運営協議会防犯・防災部に講師を依頼し、災害図上訓練「DIG」研修を実施しました。

災害図上訓練「DIG」とは、災害発生時に想定されるリスクなどについて、参加者が地図上(図上)に書き込んで災害対策を検討する防災訓練です。

参加者は、山家地区の地形や土質等の特徴を踏まえ、自宅やその周辺地域の危険情報等を地図に書き込みながら話し合いました。



※DIG(ディグ): Disaster(災害) Imagination(想像力) Game(ゲーム)の頭文字を取って名付けられたもの



この研修で、危険箇所や避難場所は、地域で共有しておくことが大事であることを学びました。今回の研修で実践したことをそれぞれの地区に持ち帰り、地域住民で情報を共有し災害への対策を進めていきたいと思います。

## 御笠地区

## 柚須原公民館



報告の後、参加者の皆さんから以下のご意見などをいただきました。

- 地域のまとまりを作るために旗を作ることを考えている。
- 柚須原の自然を生かした都会の子どもたちとの交流事業に可能性があるのではないか。
- 自然を活かした地域おこしを期待する。

今後、柚須原公民館はあたたかい陽だまりとなるように取り組んでいきたいと思っております。

12月8日(日)、柚須原公民館で御笠地区公民館交流会を開催しました。参加者は御笠地区内公民館館長・主事及び市自公連会長など29名でした。

柚須原は市北東に位置し、米ノ山峠で飯塚市と接しています。区内には柚須原の氏神様・大山祇神社があります。794年に創建されていることから、少なくとも平安時代には人々が山を切り拓いて定住し栄えたと考えられます。

しかし、近年、子世代が農業以外の定職を持つ中で年々人口が減少し、現在は21世帯、人口39人、高齢化率68.7%と農業後継者絶滅の危機に瀕しています。区外で働く世代が多く昼間の住民交流の機会は限られていますが、伝統行事などの中山間地の共同作業を移住者の方々の協力を得て継続しています。公民館は、「住民交流」「体力向上・健康づくり」「防犯・防災」「四季の花が咲く里山づくり」の事業を柱に、2024年度は夏祭り・福祉サロン・しめ縄づくり・そば打ち体験・ほうげんぎょう・花づくりを区や福祉委員と共同で、住民の意見を聞いて工夫しながら行っています。公民館事業は、毎月の区広報や直接の参加依頼をしています。



花づくり



蕎麦打ち



しめ縄講習



広報誌紹介  
山家地区

# 山家コミュニティニュース

発行：コミュニティ運営委員会～広報委員会～

広報委員会での掲載記事の選定・内容の協議を経て  
奇数月 隔月1日発行。

(構成) A4判 4ページ・フルカラー

(頒布) 山家地区内8行政区の会員 975世帯

## 広報委員会

山家区民より募集した委員と事務局長で構成する。

- ・ 広報誌の編集・発行
- ・ コミュニティづくりのための学習・調査・研究

## 山家コミュニティニュース 73号

発行：2025年1月1日  
山家コミュニティ運営協議会～広報委員会～  
TEL.092-980-7482

### 年頭のあいさつ

新年明けまして  
おめでとうございます。

山家コミュニティ運営協議会  
会長 町田 松雄



新型コロナ等の感染症も落ち着きを見せ、昨年は様々なイベントの開催により、多くの住民の方々に参加していただくことができました。実施すること、住民が集うこと、それに伴って住民が交流できることが大切であると考えております。今年もできる限りそのような場を作ることに、住民の皆さんに喜んでいただくように、そして住み良い山家となるように尽力したいと思っております。

結びに、本年も「山家はひとつ」の合言葉のもと、皆様のご協力とご支援をお願い申し上げますとともに、皆様にとりましては素晴らしい一年となりますよう、心より祈念申し上げます。年頭のあいさつとします。

### 山家宿まつり開催

11月9日(土)山家8区上町(かんまち)周辺で山家宿まつりがありました。開会式後、山家小学校児童による史跡ガイド・学習発表、次に西橋口から8区公民館までを武者行列・大名行列・山家道分・白象行列を行いました。武者行列は大人が重い甲冑を着て、山家道分は山家小学校児童が踊りながら、白象行列は山家幼稚園園児が大きな手作りの白象ぬいぐるみを引きながら行列を行いました。

また、山家有志の方がいざーを聞き山家宿まつりは盛り上がりしました。今回ご協力頂きました各スタッフの方々には大変感謝いたします。参加者全員お疲れさまでした。

また、次回も皆様の参加をお待ちしております！  
(秋吉 康詞)



山家コミュニティニュース 第73号 1

目次	
山家宿まつり開催	1
第43回山家地区文化祭開催	2
花鉢配布	2
山家自治会公民館連絡協議会総会開催	3

クリスマスリース作り	3
山家地区行事予定	3
秋季スポーツフェスタ開催	3
編集後記	4

## 第3回山家地区文化祭開催

11月3日(日)山家コミュニティセンターにおいて、第43回山家地区市民文化祭を延べ300名の参加者をお呼びで開催しました。幼稚園児や小学校児童の作品や手作り小物や着物リメイクなどの展示8団体・1個人が出版されました。

また、ステージでは、「山家岩戸神楽」や「子ども三味線」、「九段会」の太鼓、健康ダンスや太極拳、コーラスなど9団体・1個人の出し物が行われました。

当日は、「新つくしちゃん」のお披露目もありました。一方、人形劇や読み聞かせも実施され、親子連れに好評でした。

コミセンの外では、恒例の「山家宿白おこわ」の試食配布を行い、他にJAゆめ畑の野菜販売や松原のお雛、吉丁のお弁当、おもちゃ等6団体・4個人の販売がありました。秋の穏やかな日の中、幼児から高齢の方まで賑やかに過ごされていました。  
(平場 文博)



## 花鉢配布

今年も例年どおり12月1日(日)に「見守り」を兼ねて山家に住む75歳以上346世帯の皆様へ、近況を聞きながら「シクラメン」の花鉢をお届けしました。

楽しみに待っていた方々は、笑顔で受け取っていただきました。お留守の方は、玄関に置いておき、後でお礼の電話を下さった方など皆様に喜んでいただきました。

花を長持ちさせるために水をあげてください。どうぞ、いつまでも健康で元気に長生きして下さい。  
(原田 豊隆)



山家コミュニティニュース 第73号 2

(広報紙 73号抜刷り)

## 山家コミュニティ運営協議会

構成自治区 山家1区・2区・3区・中央区・6区・7区・8区・9区 計 8自治区

所在地 〒818-0003 筑紫野市大字山家 2850-1 山家コミュニティセンター内

☎ : 092-980-7482

E-mail : [yamae.komikyou@gmail.com](mailto:yamae.komikyou@gmail.com)

ホームページ : [www.yamae-komikyou.jimdofree.com](http://www.yamae-komikyou.jimdofree.com)



# 令和6年度 市自治公民館連絡協議会推進大会

大会テーマ「公民館を拠点とする地域福祉の推進」  
～ 誰もがつながり、支え合う地域づくり ～



9月28日(土)生涯学習センター「さんあいホール」で、公民館・コミュニティ関係者が一堂に会し、推進大会が開催されました。講演・研修会に加えて2階ホワイエで公民館活動の様子がパネルで展示されました。

## 【基調講演】

「つながり、支え合う地域共生社会の実現へ」をテーマに久留米市役所地域福祉課の秋山太氏から「地域福祉マガジン【グッチョ】の実践」を通じた様々な活動について、具体的な実践事例が紹介されました。「まさに『グッチョ』に共感しました。幾度も向き合うことが、お互いの安心感につながり『～し合う、乗り越え合う』地域共生社会の一步となる」など、大変参考になったとの感想がありました。



※グッチョ：「何かを一緒にし合う」という意味を持つ筑後地域の方言

## 【研修会】

「公民館活動を通しての地域福祉の推進」～つどう・まなぶ・むすぶ～をテーマに、二つの公民館の事例発表が実施されました。「コーディネータの進行の下、運営が大変スムーズで、質疑応答も十分意見が出て参考になった」との感想が寄せられています。

### 針摺公民館 「公民館を拠点とする地域福祉の推進」

「若い世代の公民館活動への参画を増やすことの難しさ。高校生によるスマホ教室や子育てサロンは活動の活性化に効果的。若い世代との交流により、地域を支える人材育成にも結びついていく」などの意見がありました。

### 筑紫駅前通公民館 「公民館における地域福祉活動」

LINE グループに登録された会員による青年部会の活動、高齢者の孤立を防ぎ仲間づくりをしていく「いきがいづくりステーション」、自治会と連携し独居老人の孤立化を防ぐ民生・児童委員の活動などが紹介されました。



### ＊パネル展示＊

各地区公民館・各コミュニティ運営協議会の活動内容が紹介され、年間を通しての各地区の熱心な取組みが伝わってきました。